

# 第38回「議員と語りかい」報告書

総務環境常任委員会 (No. 1)

開催日	令和 4年 7月 28日			午前10時 ~ 11時30分	
開催場所	議会棟第3・4委員会室				
団体名	霧島市文化協会	参加人員	7人 (男3人:女4人)		
出席議員	宮田 竜二、今吉 直樹、松下 太葵、藤田 直仁、松枝 正浩、 前島 広紀、有村 隆志、仮屋 国治、宮内 博				
役割分担	班 長 ( 宮田 竜二 ) 副班長 ( 今吉 直樹 ) 記録係 ( 宮内 博 )				
テーマ及び具体的な内容	① 文化活動公共施設の利便性の拡大 ② 市議会議員と文化協会の交流 ・多目的ホールの音響・照明・什器不足と使用制限の緩和策 ・隼人農改センター、溝辺ホール(みそめ館)の設備増強 ・過疎支部における情報交換と魅力創り				

意見交換での主な意見等	◆は参加者の質問・要望    ◇は議員の回答
	◆ロビーなどでの展示を行うとき、備品の不足があっても借りることができない。使用制限を緩和してほしい。
	◇利便性の向上のために行政への働きかけの経過があるか。
	◆市とは、常に連絡は密に取り合っている。要望はしているが紙面での要請はしていない。議員には、実態を知ってほしい。文化協会の高齢化があり、若年層も入れたい。公民館の予約は、ラインなどを用いた利便性をお願いしたい。県にも要請したが否定的な答えだった。すぐにできなくてもできるように改善してほしい。一緒になってやっていきたい。次の世代のために利便性を考えたシステムの構築ができたらと思う。
	◇以前の意見交換会から改善されたものがあるか。
◆隼人農村環境改善センターも工事が行われている。市庁舎の雨漏りの補修を要請して改善された。	
◇市への要望書は紙面で提出してほしい。	

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆教育委員会に文化部門がなくなり、市長部局になっている。市長部局と教育委員会が連携することが必要と感じる。

◆文化活動も、子どもたちが夢中になっていることを取り入れることが必要かなと思う。中央高校にはダンス部もある。県の合唱祭にも参加していた。参加した子どもは500人程いた。異文化交流なども取り入れることが必要ではないかと思う。

◆議員と文化協会との交流をお願いしたい。地域の実情を知ってほしい。

◇文化議員連盟をつくったので、連絡を頂ければ参加することは可能だ。

◆今後、地域とつながりのある議員には招待したい。情報交換したい。

◇活動資金は、足りているのか。

◆会員の会費や市からの補助金で運営し、予算内で活動をしている。

◆資金はない。福山は5団体のみだ。これ以上減少すると活動できない。町民参加型でやりたいと相談している。賛助出演などの協力でやっと成り立っている。文化祭参加団体が増えると交通費なども払えなくなることもある。活動は厳しいが、自分たちで工夫している。

◆会費と補助金でやっている。車代しか出せない状況だ。溝辺と隼人も音響施設が悪い。演じる人たちは最高の環境でやりたいけど、我慢していただいている。

◇市の補助金が少ないのであれば要請してほしい。

◇会費を集める手段として賛助会員制度など、できないのか。

◆県には制度がある。県にできるのであれば、ここでもできるのかなと思う。クラウドファンディングで集める方法もあるが、手数料も高い。霧島市が文化のために集める方法はないのか。

◇ふるさと納税に指定寄付もある。執行部と打ち合わせてほしい。

意見交換での主な意見等

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆昨年、展示発表会で作品の盗難があった。一週間開催する。見張りをしているが死角もある。市役所の出入り口に防犯カメラ設置ができないか。

◇市役所入り口には、防犯カメラが設置されている。

◇文化芸術を考えた時に、霧島市でできることは何か。

◆「立ち上がれ文化人」と言う事を伝えたい。我々の意識改革も必要と思っている。

◆核家族化が大きな原因ではないかと思う。身近な人に声をかけてほしい。

◇文化は生活の一部だ。音楽だけでなく、食やロケーションなどもある。食は人を動かす。文化芸術に限らず食に関する事などもいいと思う。

◆今年の講演会はユニークだ。生き方のヒントも得られる講演だと思う。多様な生き方をされている方だ。ぜひ来ていただきたい。

意見交換での主な意見等